





鳥瞰イメージパース



外観イメージパース

目次

目次

1. 設計方針	1
2. 計画概要	2
3. 配置計画	3
4. 平面計画	4
5. 立面計画	5
6. 省エネルギー計画	6
7. 工事費概算書・工事工程スケジュール	7

1. 設計方針

■計画経緯と背景

令和 2 年 7 月に上富良野町立病院の改築整備が決定され、新町立病院が子どもセンター解体後の跡地に建設されることにより、子どもセンターを移転することになりました。

現子どもセンターは子育て支援拠点事業と発達支援事業を行っており、今後の子育てに関わる一体的な支援を行うための施設整備が課題となっています。

町内においては、人口減少、少子高齢化、家族形態の変化、就労の多様化、地域コミュニティの希薄化など、子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化する中で、子育てへの不安や孤立を感じる保護者が増加し、子育て支援に関するニーズも多様化しています。

近年は子どもの発達に関わる相談件数が増加傾向にあります。保育現場や教育現場においても、相談や支援へのニーズが増加しており、充実した療育環境の整備が重要な課題となっています。

また、児童館に関しては、町内に 2 施設（東児童館、西児童館）ありますが、東児童館については建物の劣化が著しく、屋根・外壁などの改修とバリアフリー化が課題となっています。

子どもセンター



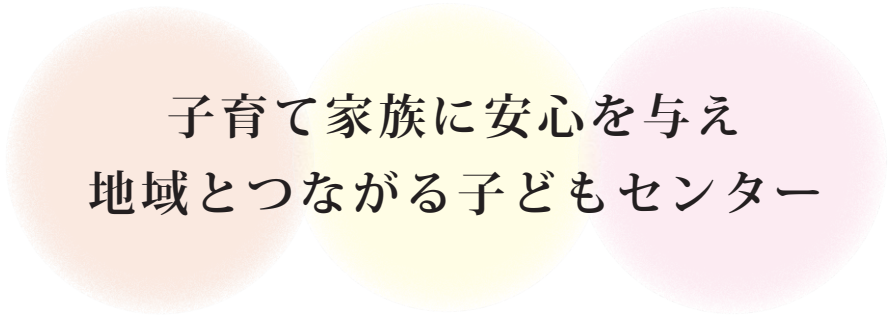
建設年度：昭和 47 年
構造：セラミックブロック造
床面積：936.00㎡
開設日：月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）
開設時間：8 時 30 分～17 時 15 分
建物概要：子育て支援拠点として、子育て中の親子を対象に、子どもや保護者の居場所、コミュニティの場として不安なく子育てできる環境づくりを支援する施設。
発達支援センターとして、就学前の子どもを対象に発達支援の必要な子どもとその家族をサポートする施設。

東児童館



建設年度：昭和 57 年
構造：木造
床面積：247.05㎡
開設日：月曜日～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
開設時間：10 時～17 時
建物概要：18 歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊びと子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操を豊かにすることを目的とした施設。

■設計コンセプト



子育て家族に安心を与え 地域とつながる子どもセンター

子どもとその家族が地域で安心して暮らすことができる子どもセンター。
子どもに関わる機能を持ち合わせた一体的な「上富良野町子どもセンター」を計画します。

■設計基本方針

設計の基本的な考え方

1. だれもが利用しやすく、すべての人に優しい施設

- ユニバーサルデザインにより、利用者に優しい施設を計画します。風除室、トイレなどをわかりやすい位置に配置し、明快な動線とすることで、使い勝手の良い施設を目指します。
- 子育て支援・発達支援と児童館は動線分離を基本としたゾーニング計画とします。
- 事務室は集約配置し、相互連携をしやすい計画とします。
- 児童館のスペースを活用し、地域住民のコミュニケーションが図れる空間とします。

2. 地域特性を用いたデザイン

- 内部デザインや内装仕上材は、道産・地場産材を取り入れ、優しさと温かみのある空間構成とします。使用木材の寸法や天井の高さなどヒューマンスケールにより構成することで、利用者にとって居心地の良い空間を実現します。

3. 安全性の高いシンプルな施設

- 施設にもとめられる耐震安全性を最低条件として捉えた構造・機能を計画します。
- 地震に強いシンプルな箱型の整形とし、安定性の高い構造計画とします。フロアの十分な視認性を確保することで、施設内の安全な避難を可能とします。

4. L C C（ライフサイクルコスト）削減を目指した、環境配慮型施設

- コンパクトな形状によりメンテナンス範囲を縮小、将来的な改修・設備更新も容易とし L C C を低減します。
- L E D 照明器具やトイレ等における節水型衛生機器の採用により、機器更新費用と光熱水費用を削減します。

2. 計画概要

■敷地概要

計画敷地は、施設へのアクセスや周辺環境、他の公共施設との連携、敷地面積の確保等を総合的に勘案し、現在の東児童館敷地内とします。

- 東児童館敷地は市街地にあり、利用者にとってアクセスが容易で、子育て支援の観点からも最適な場所です。
- 泥流や洪水等の自然災害に対しても安全な場所であり、子育て世帯（乳幼児）の二次避難所として活用できます。



新施設 計画敷地

■計画敷地の概要

敷地の位置	上富良野町旭町 2 丁目 1086-15 ほか	
敷地面積	約 4,000㎡ (一種中高層：約 1,950㎡、二種中高層：約 2,050㎡)	
都市計画区域	都市計画区域内	
用途地域	第一種中高層住居専用地域 (150/60)、 第二種中高層住居専用地域 (200/60)	
防火地域	指定なし (建築基準法 22 条区域)	
日影規制	規制なし (高さ 10m を超えない)	
前面道路幅員	町道 北 5 条通り	幅員 13.00 m
	町道 東 5 丁目通り	幅員 14.60 m
	町道 北 3 条仲通り	幅員 7.00 m
	町道 旭町 2 丁目 1 番通り	幅員 3.30 m

■計画建物の概要

用途	事務所及び児童福祉施設等 (事務所：子育て支援・発達支援、児童福祉施設：児童館)	
構造	鉄骨造	
建築面積	子どもセンター棟 1,376.55㎡ 車庫棟 30.90㎡、物置棟 14.70㎡ 合計 1,422.15㎡	
延床面積	子どもセンター棟 1,289.75㎡ 車庫棟 30.90㎡、物置棟 14.70㎡ 合計 1,335.35㎡	
階数	平屋建て	
高さ	最高の高さ 7.2 m 最高の軒の高さ 6.95 m	
耐火建築物	準耐火建築物	

■構造計画の概要

構造計画は、建築の諸機能の中で力学的な特性と経済性を考慮し、空間構成の基本的条件を分析・検討を行い、空間に最も相応しい構造方式を選択します。耐震性は、構造体の部分的な損傷は生じますが、建築物全体の耐力の低下は著しくなく、人命の安全確保が図られていることを目標にします (耐震グレードⅢ)。

■電気設備計画の概要

強電設備	電灯設備、動力設備、受変電設備
弱電設備	構内情報設備、構内交換設備、拡声設備 インターホン設備、トイレ呼出し設備 テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、火災報知設備

■機械設備計画の概要

空調調和設備	空調設備、換気設備、給油設備、自動制御設備 冷暖房熱源：空気熱ヒートポンプエアコン (電気) 床暖房熱源：温水ボイラー (灯油)
給排水設備	給水設備、排水設備、給湯設備、衛生器具設備 消火設備

3. 配置計画

(1) 建物配置計画

- 敷地の有効利用が可能な配置計画とし、東児童館の園庭を含む南側敷地スペースに建物を配置します。
- 冬期間の除排雪を考慮した外構計画とし、北側園庭を堆雪スペースとして確保できる計画とします。
- 物置棟は、園庭と菜園を考慮し、北側に配置します。

(2) 動線計画

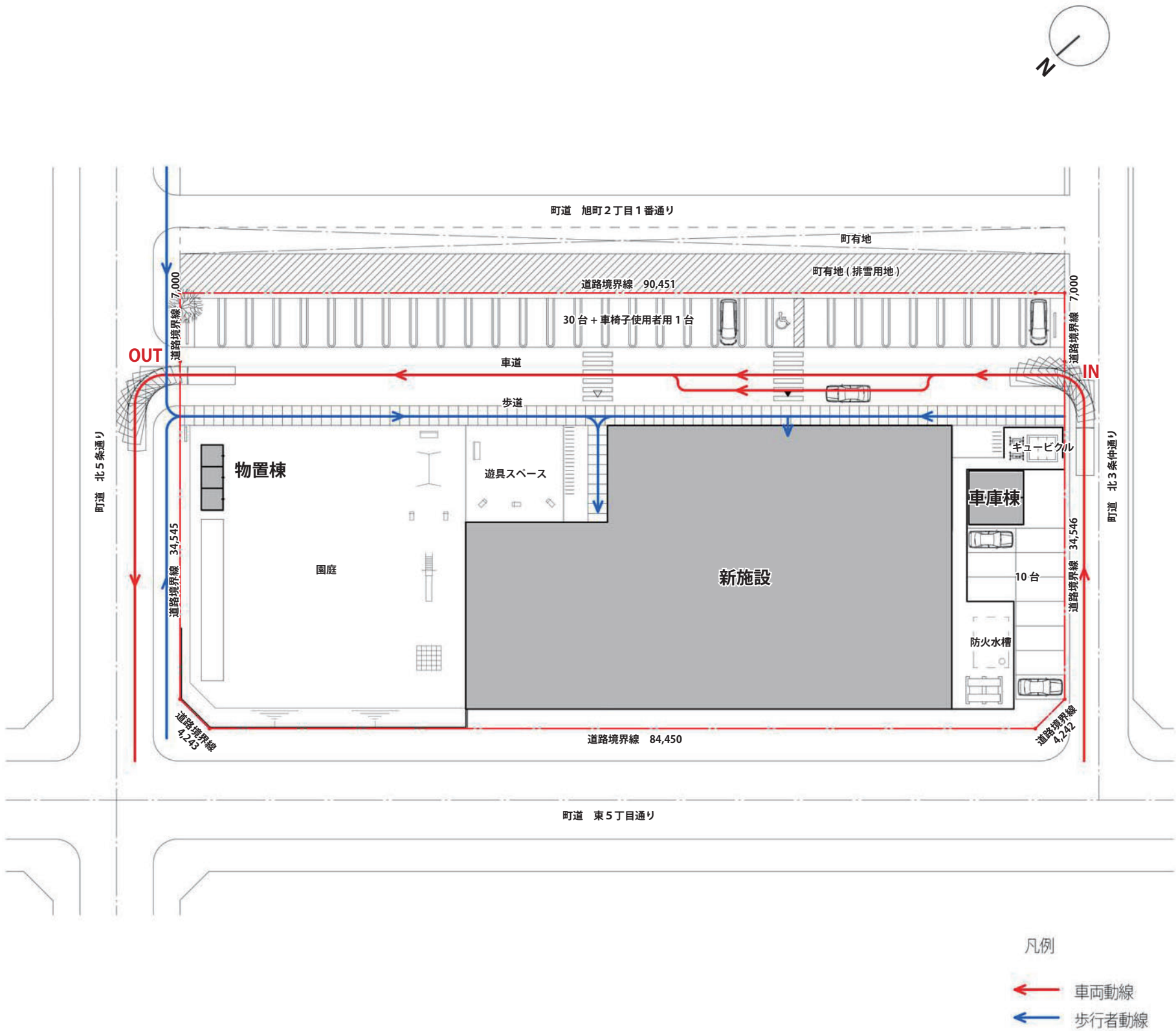
- 新施設の利用者用出入口は、東側に設け、出入口には車寄せの庇を設置し、雨・雪が当たらないよう施設利用者に配慮します。
- 歩車道分離となる安全な動線計画を基本と考え、南北道から通り抜けできる歩道を設けます。

(3) 駐車計画

- 利用者用駐車場は、東側に並列させ、30台＋車椅子利用者用駐車場1台を確保します。また、職員駐車場は、南側に10台＋公用車車庫(2台)を確保します。合計43台の整備計画とします。
- 利用者用駐車場は、巾を2.8mとすることで、子育て世帯が安心して乗り降りできるよう、ゆとりのあるスペースを確保した計画とします。

(4) 外構計画

- 施設を利用する子どもや親子の憩いの場として遊具スペースを設置し、また、児童館の園庭では、ボール遊びができるスペースを確保します。
- 西側の歩道面と計画敷地には高低差があり、一部で土留めの擁壁を設置計画します。また、建物西側と歩道との境は、歩道の高さに合わせる計画とします。



4. 平面計画

(1) 基本的な考え方

- 誰もが利用しやすい、明快な平面配置構成とします。子育て支援・発達支援は、出入口から事務室・各機能スペース・管理スペースへと機能ごとに集約して配置します。子育て支援と発達支援の各機能室への動線は極力交錯せずに、エリア分けされた平面構成とします。
- 児童館は、出入口から事務室・共用室へと、子どもに配慮できるような安全を意識した平面構成とします。
- 子育て支援・発達支援と児童館との施設内での行き来は、職員が給湯室を介して利用できる計画とします。

(2) 子育て支援・発達支援平面計画

- 玄関側に事務室を集約して配置し、利用者への対応と利便性に配慮します。
- 子育て支援と発達支援をゾーン分けし、動線の分離と施設の円滑な利用に配慮した配置とします。
- 相談室、個別指導室などは、防音仕様、視線遮蔽などのプライバシーに配慮します。
- 玄関から近接してトイレ水廻りエリアを設けます。トイレ(M/W)、授乳室、多目的トイレ、水飲み・手洗場を併設配置し、利用者の利便性に配慮します。
- 避難口として東側出入口以外に、西側の廊下突当りに外部へ通ずる避難口を2か所確保します。

(3) 児童館平面計画

- 玄関側に事務室を配置し、利用者の利便性に配慮します。
- 図書コーナー、集会室は壁で仕切らず、家具で各室を仕切る計画とし、一体的な空間とします。また、利用者の孤立を防ぎ、職員の目がとどきやすい配置構成とします。
- 遊戯室は、バドミントンなどができるスペースとして西側に確保します。



5. 立面計画

(1) 基本的な考え方

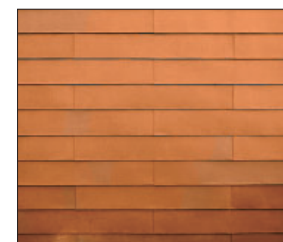
- 外装材の色彩は、上富良野町の「人」「緑」「まち」をイメージした温かみのあるアースカラーを基調とした色彩計画とします。
- 周辺環境と調和する機能的な外観とします。庇は事務室への日差しを軽減する効果があり、省エネルギーによる執務環境の改善に効果があります。
- 連窓によるガラスは、室内の活動や光が街へとつながり、周辺地域を明るくします。

(2) 外部仕上材について

- 外装はガルバリウム鋼板とし、耐久性が高く汎用性があるものを採用します。

(3) 色彩計画について

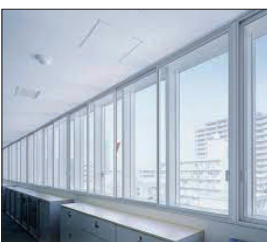
- 外装材はアースカラーを基調とし、敷地に落ち着きを与える色とします。
- 子育て支援・発達支援側の出入口は、ラベンダー色の外壁とし、地域に親しまれる色彩計画とします。



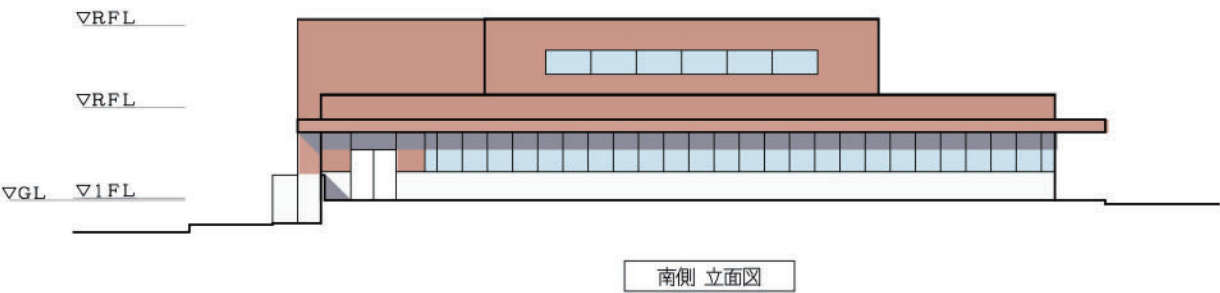
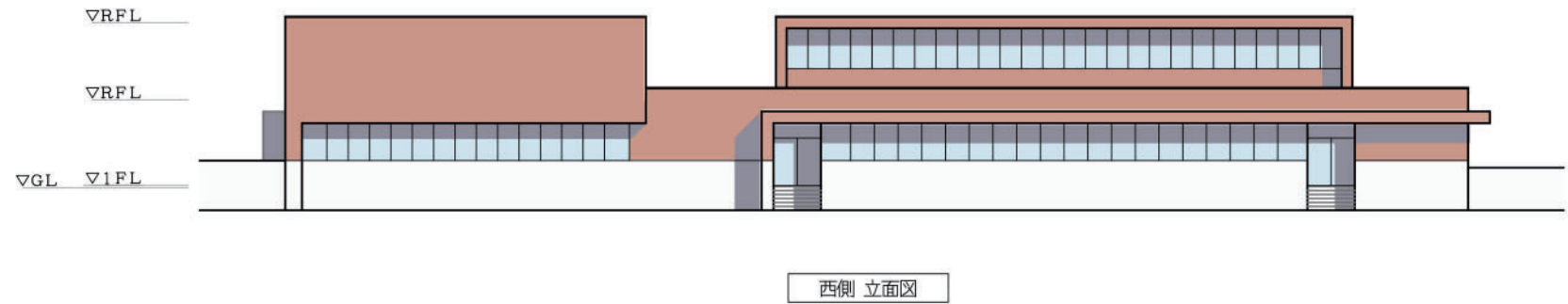
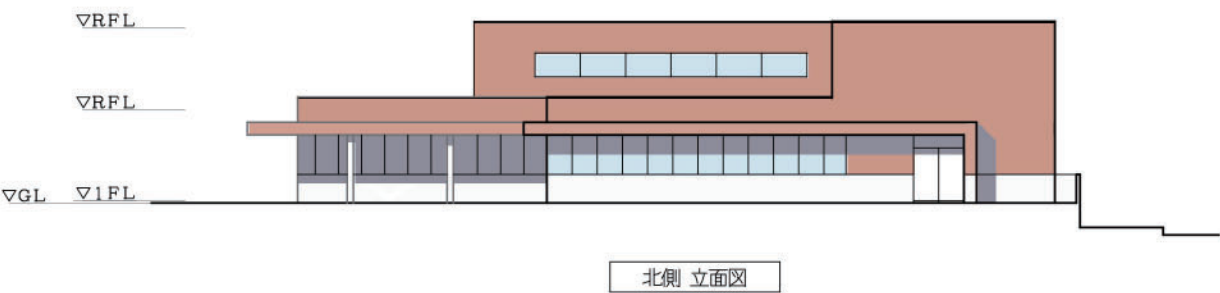
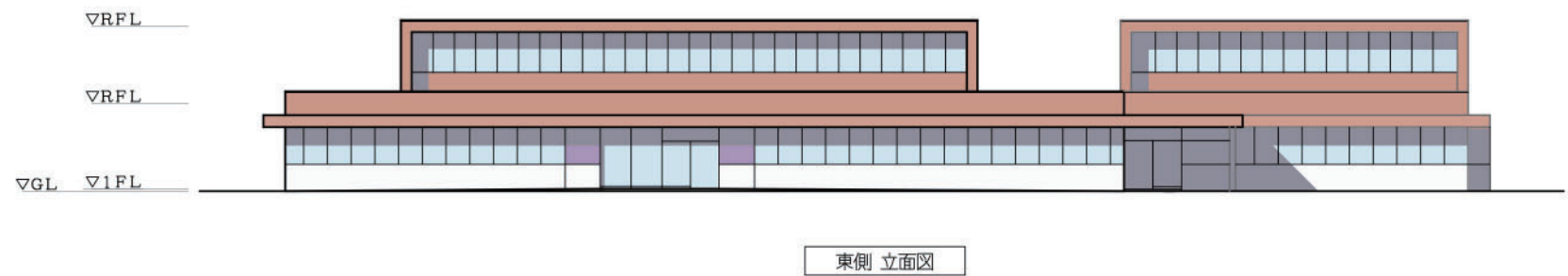
外壁



軒天



建具



6. 省エネルギー計画

(1) 基本的な考え方

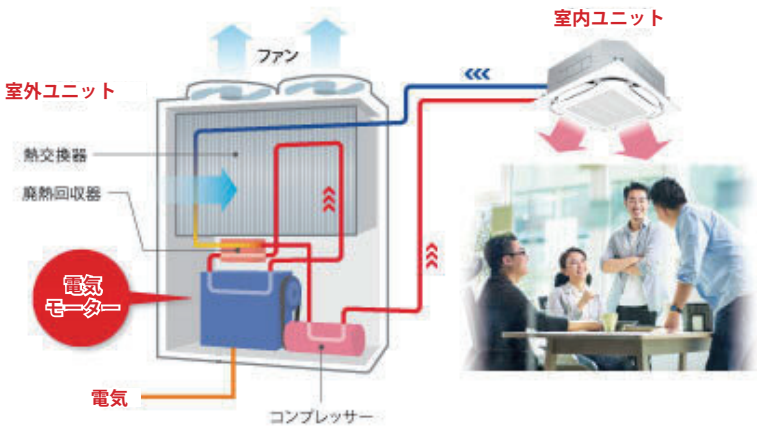
- 積雪寒冷地である上富良野町の地域特性を踏まえた活用可能な自然エネルギーを利用し、長寿命型・高効率型の機器を採用するなど、ライフサイクルコストの削減に考慮した経済性の高い施設を目指します。

(2) 省エネルギーの手法

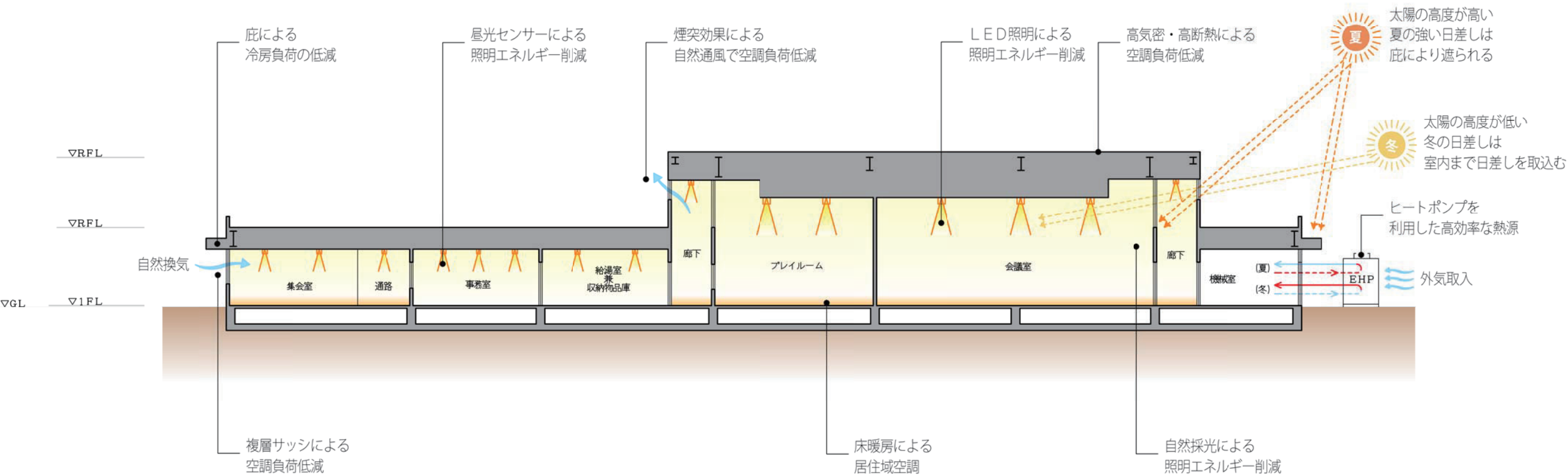
- 外壁、屋上面は、熱貫流率の低い断熱材を採用し、高い断熱性能により冷暖房費の削減と室温の安定した快適な環境を実現します。また、寒暖差による躯体の収縮を最小限に抑えるため、建物の長寿命化に効果的な工法を検討します。
- 高断熱ガラス、断熱サッシを採用し、空調負荷軽減による CO2 排出量の削減を目指します。
- 間仕切りの無いオープンな空間は、人のいる居住域を効果的に空調できる床暖房方式と天井からの冷暖房空調方式を採用します。
- LED 照明、昼光センサー、人感センサーなどの効率的な照明システムを採用し、経済的な照明計画とします。

(3) ヒートポンプエネルギーの活用

- 空気中の熱を利用して冷温熱を生成するシステムを採用します。ヒートポンプは燃焼を伴わないため、CO2 の排出を抑えて熱エネルギーを作り出し、再生可能エネルギーとして環境に優しく、温暖化対策に効果があります。



システム概略図



環境配慮イメージ図

7. 工事費概算書・工事工程スケジュール

■工事費概算書

建築主体工事	490,864,000	円	本体工事、車庫・物置含む	外構工事	59,719,000	円	
電気設備工事	68,618,000	円	本体工事	児童館解体工事	7,601,000	円	
機械設備工事	134,871,000	円	本体工事				
小計①	694,353,000	円		小計②	67,320,000	円	
合計(①+②)					761,673,000	円	消費税 1 0 %含む

■工事工程スケジュール

年度	令和3年度												令和4年度												令和5年度												令和6年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
マスタースケジュール						基本設計						実施設計						建設工事									解体・外構工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														